

- 熊谷市では、森林環境譲与税の創設を契機に、県産木材を活用して、木材利用や普及啓発活動を通じた住民への森林整備への理解の醸成に取り組んでいく。
- このため、令和5年度においては、以下の取り組みにより、普及啓発活動を行った。
 - ・埼玉県産木材を活用し、熊谷市内に所在する指定文化財の説明板5基、星溪園休憩椅子及び車止めを作成した。

□ 事業内容

1. 森林環境譲与税埼玉県産木材利用促進業務委託

埼玉県産材を活用し、文化財説明板、休憩椅子及び車止めの製造を実施。

【事業費】1,995千円（うち譲与税1,995千円）

【実績】文化財説明板5基、星溪園の休憩椅子4脚及び車止め2基

□ 取組の背景

木材の利用促進と、熊谷市における文化財の歴史について普及・啓発をするため、県産木材で作成した説明板を市内の指定文化財に設置した。



（説明板）



（車止め）



（休憩椅子）

□ 工夫・留意した点

屋外型の説明板と異なり屋内型の説明板の設置については、室内空間の景観と融合させるという観点からも木材の質感を生かした説明板が適当であり、県産木材の利活用という制度上の主旨とも合致したと考えられる。

□ 取組の効果

文化財についての理解度の向上に加え、木製の柔らかく温かみのある雰囲気が、寺院等、設置場所の景観と調和している。

◇ 基礎データ

①令和5年度譲与額 ：21,672千円	②私有林人工林面積（※1） ：57ha	
③林野率（※1） ：2.7%	④人口（※2） ：194,415人	⑤林業就業者数（※2） ：2人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より